

2024年

9月号

ふれあいネットワーク



# やめ社協だより

発行●社会福祉法人八女市社会福祉協議会(八女市社会福祉会館内) 〒834-0031 八女市本町599番地



## 夏の風物詩 多世代交流事業「七夕まつり」 ～七夕かざりが参加者を魅了～



打々鼓・鼓夢による太鼓演奏



輪なげ



七夕揮毫会



びっくり箱作成

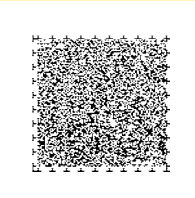


紙ひこうき作成

音声コードの横には半円の「切り抜き」が2つあります。これは視覚障がい者等が触覚によりコードの位置を把握できるようにするためです。



音声コード掲載にともなう「切り抜き」について



7月28日(日)、八女市多世代交流館 共生の森において、「七夕まつり」が開催され、約450名の方が参加されました。  
「七夕まつり」は、毎年七夕の時期に多世代交流を目的に、民生委員児童委員、主任児童委員、シニアクラブ連合会八女支部の皆さん等の協力により開催されています。  
オープニングでは、打々鼓・鼓夢による太鼓演奏が披露され、参加者の皆さんからとても大きな拍手を送られました。さらに、竹とんぼや紙てっぽう等の伝承遊びをはじめ、輪投げ、ダーツ等の体験を通して、交流を図られました。  
また、七夕伝承行事である七夕揮毫会では、昨年より参加者も増え、子どもたちが大きな紙に一生懸命書く姿がありました。  
今年は若い方の参加も多く、七夕行事の由来や七夕飾りの作り方等の伝承が図られました。  
会場はカレーライスや綿菓子、アイスクリームの販売もあり、大変賑わっていました。





# 赤い羽根共同募金についてご紹介します



**赤い羽根共同募金とは** ※八女市社会福祉協議会が共同募金会八女市支会の運営を行っています。

共同募金運動は、都道府県を単位に行われています。各都道府県内で共同募金としてお寄せいただいたご寄附は、同じ都道府県内で、子どもたち、高齢者、障がい者等を支援するさまざまな福祉活動や災害時支援に役立てられます。

運動期間は10月1日から12月31日まで全国一斉に行われます。

皆様のご協力のおかげで募金運動が成り立っています！



## 共同募金のしくみ

共同募金は、市内の福祉団体等への配分計画を立案し、その計画に基づき、配分事業に必要なとされる目標額を毎年定めています（※1）。つまり、地域ごとに課題解決に必要な使いみちの額を事前に決めてから、寄附を募る「計画募金」です。

集まった募金は、全額を福岡県共同募金会に送金し、翌年度事業に配分されます。約78%が八女市内（募金をいただいた地域）で使われて、残りの約22%が市区町村を越えた広域の活動や災害時の備えのため等に使われています。

（※1）共同募金会八女市支会では、“配分委員会”（理事会の互選により7名）と“理事会”（16名）を各2回ずつ実施しています。配分委員会で募金推進方法や配分計画を立案し、理事会で承認を行います。

### 【共同募金会八女市支会役員選出区分】

- ・ 行政区長代表(6名)
- ・ 八女商工会議所代表(1名)
- ・ 福岡八女農業協同組合代表(1名)
- ・ 市議会代表(1名)
- ・ 民生委員児童委員代表(3名)
- ・ 八女市商工会代表(1名)
- ・ 行政代表(2名)
- ・ 社会福祉協議会代表(1名)



▲理事会の様子



## 共同募金の推進方法

※令和5年度実績額・・・11,783,242円

- ① 戸別募金 … 行政区長さんを通じて、1世帯500円を目安とした協力依頼
- ② 街頭募金 … 商業施設等にて協力依頼（事業周知活動）
- ③ 法人募金 … 市内各事業所への協力依頼
- ④ 資材募金 … 資材を活用した協力依頼
- ⑤ 自販機募金 … 市内に設置している共同募金会自販機による募金

設置場所 … 市役所本庁（2台）、八女市社会福祉会館、八女市黒木地域交流センター（ふじの里）、八女市星野総合保健福祉センター（そよかぜ）、特別養護老人ホームゆいのもり、社会福祉法人明和会（陽だまりの里）（各1台）

- ⑥ その他募金 … 募金箱設置や個人募金等による募金



## 共同募金の使いみち

※令和6年度地域配分額・・・9,133,700円

### ●八女市内の地域福祉事業への配分（約78%）

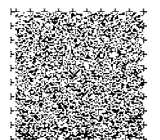
- ① 高齢者福祉(シニアクラブ活動、配食サービス事業等) 925,100円
- ② 障がい児・者福祉(障がい者福祉活動、手話や音訳活動等) 1,375,600円
- ③ 児童・青少年福祉(子ども食堂や学習支援事業等) 1,874,700円
- ④ 住民福祉(ふれあいサロンやボランティア活動支援等) 4,958,300円

### ●市町村を超えた広域配分（約22%）

- ・ 県内の福祉事業や災害時の備えとして活用
- ・ 福祉施設の増改築や修理、送迎車両整備等への配分
- ・ 災害発生時のボランティア活動支援等への準備金として積立



配分詳細についてはWEBサイトもご覧ください！  
（赤い羽根データベースはねっと）



★10月から始まる共同募金運動におきましては皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 黒木町に新たに、 子ども食堂が立ち 上がりました!!

今年6月から黒木町に『こども食堂』  
しらんげ堂』がオープンしました。第  
2回目の開催は、黒木公民館で開催さ  
れている『土曜寺子屋』の日程に合わ  
せ、7月13日(土)に開催されました。当  
日は多くの方が来場され、にぎやかに  
食事されました。

代表の大田 英  
資さんは、「自分  
自身が地域の方に  
良くしてもらって  
いることや自身の  
子育てをきっかけ  
に、地域で何かで  
きないかと考えは  
じめ、子ども食堂  
を立ち上げまし  
た。今後は、黒木  
町のいろいろな場  
所で開催し、『こ  
ども食堂』しらんげ  
堂』を通じて、た  
くさんの方に交流  
してもらいたいで  
す。」と話されま  
した。



## ボランティア活動が「共育」に つながる 子ども食堂を通じた地域活動

7月27日(土)、チャイルドサポートネットワーク(下川 京子代  
表)に、みやま市の社会福祉協議会と同市内で子ども食堂を実  
施されている団体様が視察に来られました。

下川代表からは、子ども食堂及び学習支援を始めた経緯や現  
状等について説明されました。説明後には、意見交換も行われ、  
みやま市での子ども食堂運営に対する課題等、活発に意見交換  
されていました。途中、FMやめよ  
り取材があり、みやま市の子ども食  
堂の方より「実際に食べて優しい味  
でした。」「カレー以外に9品のおか  
ずに驚きました。」といった声があ  
りました。

また、当日は高校時から土曜クラ  
ブでボランティア活動されていた市  
民の方が同席されました。現在は、  
社会人として仕事をされていますが、  
子どもの様々な問題から、寂しい思  
いはさせたくない、現在もボラン  
ティア活動に取り組まれています。  
チャイルドサポートネットワーク  
では、地域の子どもは地域で育み、  
見守り育てる「共育」の文化を広げ  
る活動を実践されており、参加者か  
らは、「みやま市でも同じような取  
り組みを目標にしていきたい。」と  
力強く話されました。



▲食事内容の説明を受けている様子

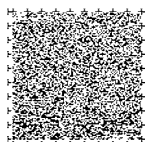


## 子どもの居場所づくりの 推進をめざして

7月30日(火)、「子ども食堂連携会議」を開催しました。  
今回は、筑紫女学園大学の太西良准教授をお招き  
し、子ども食堂の現状や子どもの貧困問題について、  
講義を受けました。子ども食堂は全国に9132カ  
所(令和6年2月現在)あり、毎年約1500カ所  
ずつ増えているそうです。また、最近の子ども食堂  
が増加している要因として、子ども食堂は参加に条  
件を設けず、誰でも利用ができることで、多世代交  
流から地域づくりにつながる、多世代交流の拠点と  
いう考え方が広がっていること  
があげられるとのことでした。

市内でも、7カ所の子ども食  
堂が設置され、子どもの居場所  
づくりをはじめ、世代を超えた  
交流ができる場所にもつながる  
よう、各団体がいろんな工夫を  
しながら、取り組まれています。  
一方で、課題として、「後継者  
がない。」「物価高騰のため活  
動費が不足している。」といっ  
た意見も出されました。

今後は、子どもたちが安心し  
て過ごすことができ、多世代交  
流の場としての子ども食堂を継続して  
行けるような運営支援を八女市及び子  
ども食堂と三位一体となって実施して  
いきます。





日頃の交流が共助につながる  
熊本地震から学ぶ

7月19日(金)、20日(土)に八女市民生委員児童委員連絡協議会会長の視察研修が実施されました。

今回は、平成28年4月に発生した熊本地震の記録が展示された「熊本地震災ミューシウムK-O-K U」及び震源地となった熊本県益城町の「益城町復興まちづくりセンター」を視察し、災害の恐ろしさを目の当たりにされました。その中で、阿蘇大橋の崩落で孤立した地域には、当時、学生約800名が居住していた「学生村」と呼ばれた黒川地区があり、地震発生時に、学生たちが援助活動に尽力した話がありました。黒川地区は高齢者が多い地域でしたが、学生たちが、普段から地域住民と家族のような交流をしていたため、「共助」による迅速な救援活動につながったそうです。世代を超えた交流の大切さを実感できる研修となりました。



▲当時の被害の大きさを物語る標識



▲被災状況の説明を受ける様子

上妻校区の福祉施設の理解  
を深められました！

6月13日(木)、上妻校区民生委員児童委員の皆さんが、「バリアフリー在宅 ドリームハウス金太郎」と「介護予防特化型デイサービスセラフィットリアン」を視察見学されました。

それぞれの施設において、施設職員による事業内容の紹介や施設の概要等を説明いただきました。説明後、「ドリームハウス金太郎」では、実際にバリアフリー在宅の内装を見学されました。「セラフィットリアン」では、施設に設置されている機能回復のためのさまざまな器具を体験されました。



▲セラフィットリアンにて器具の体験



▲金太郎さんによる施設の説明

ポッチャ大会  
18チーム、熱戦

7月19日(金)、八女市身体障害者福祉協会ポッチャ大会が、八女市総合体育館で開催されました。ポッチャは、パラリンピックの正式種目で、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当たたりして、いかに近づけるかを競います。

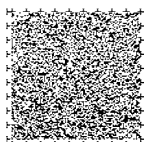
今回は1〜2人のチームを18チーム作り、総当たりのリーグ戦、トーナメント戦をしました。昨年も参加された方や初めてポッチャをする方もおり、皆さんで教え合ってすぐにコツを掴み、絶妙なねらいで高得点を収めるチームも多く、白熱した試合が行われました。皆さんポッチャを楽しんでおり、笑顔が絶えない大変賑わいのあった大会となりました。



▲皆さん、一生懸命競技されました



▲優勝チームへ景品贈呈の様子





ふれあいサロンで異文化交流 「平野すみれ会(白木1区)」

立花町の平野公民館では、毎月ふれあいサロン「平野すみれ会」が開催されています。ふれあいサロン代表が、平野地区に住んでいるインドネシアの方に「ふれあいサロンに来てみんなね。」と誘ったところ、3人の参加につながったとのこと。

初めに3人が自己紹介をされて、インドネシアの文化や言葉等について教えていただきました。インドネシアでは、多くの女性がヒジャブと呼ばれる布を頭に巻いています。これは、家族以外の男性に髪を見られないようにするためとのこと。他にも、インドネシア語を教えてもらったり、郷土料理を振舞っていただいた交流を深めました。

ふれあいサロン活動が、地域住民の交流の拠点となり、お互いを尊重し、気にかけて合う良い関係性づくりにつながっていることを実感することができました。



▲サロンの皆さんと記念撮影



▲スカットボールのやり方を教えていただいて一緒に楽しみました



▲インドネシア料理を振舞っていただきました♪

有線放送でサロン開催のお知らせを行いました♪



地域での暮らしはどうしている？

インドネシアの方々にインタビューしました



▲(右から) ハーちゃん、アーちゃん、シーちゃん 地域の方から親しみをもってニックネームで呼ばれています。

私たちは森の里で介護支援員として働いている皆さん。文化や言葉、習慣等が異なる国で生活するのは困難なことがあるかと思いますが、「地域の人たちはみんな優しいです。」「顔と名前を覚えていただいて、地域で声をかけてもらえるようになって嬉しかったです。」と話されました。

外国人にとって、地域の方言は難しいと思います。が、地域の人たちに教えていただいていたのが印象的でした。また、3人ともに「うどんが好き。」と話されたところ、地域の人たちが、「うどんが好きなら、今度、肉うどんを持ってこるたい。」と優しく心配りされていました。

地域住民に支えていただき、3人は地域の人たちに元気や明るさを与えて、地域活動の活性化につながっていました。



かがやきを活用して多世代交流「しあわせサロン高山(光友5区)」

7月9日(火)、八女市立花総合保健福祉センター「かがやき」にて、「しあわせサロン高山」と「かがやき」利用者による、多世代交流を行いました。

ふれあいサロン活動に「日向ひよっこ踊りちっこ愛好会」をボランティアとして依頼された「しあわせサロン高山」の代表さんに、「かがやきでふれあいサロンを開催し、多世代交流の場として協力いただけませんか。」と生活支援コーデイネーターから働きかけて、今回の開催に至りました。

当日は、ふれあいサロンの皆さんの他にも、みつとも保育園の園児の皆さん、かがやき利用者等にも参加いただき、ひよっこ踊りや保育園児による歌と踊り等でとても賑わいました。

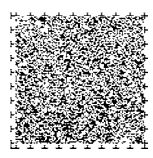
今後このような多世代交流の場づくりを地域の皆さんにもすすめていきたいと思います。



▲みつとも保育園園児による踊り披露



▲ひよっこ踊りで大賑わいでした







## 福岡県からひきこもり支援の視察に来られました

7月17日(水)、福岡県こころの健康づくり推進室、福岡県精神保健福祉センター、南筑後保健福祉環境事務所から6名が、ひきこもり支援事業について、ほっと館やめ(共生の森)を視察に来られました。

最初にほっと館やめのスタッフから、近年取りあげられている「8050問題(80代の親と50代のひきこもりの子ども)」や増え続ける不登校の問題、生活困窮者の支援の場として開設をした経緯をはじめ、ほっとフレンドふぁーむの野菜作り、みかんの皮むきや花火作業等の内職作業を通じた、参加支援を行いながら、外へ出るきっかけ作りを行っていることを説明しました。

ほっと館やめは「ほっとする場所」「ほとな場所」「ほっとかない場所」をめざし、子どもから高齢者まで誰もが集える場所として、フリースペースの居場所づくりを行っていることも説明しました。

説明後の意見交換会では、広域な八女市における具体的なひきこもり支援方法や八女市との連携等について、活発なやりとりをさせていただきました。意見交換会後は、実際にほっと館やめのフリースペースを中心に見学が行われました。



## フードドライブで集まった食品を寄贈していただきました

ゆめタウン八女様より、フードドライブで集まった食品を寄贈していただきました。昨年度から店内の食品売り場一角に特設ブースを設置され、定期的に集まった食品を寄贈していただいております。集まった食品は、社会福祉協議会を通じて、市内の子ども食堂や食の支援が必要な世帯に提供させていただきます。



## ○ ほっと館やめから9月の行事のお知らせ (会場：ほっと館やめ)



### 料理教室

料理やおしゃべりで、ほっとするひと時を過ごしてみませんか？

●日時 9月17日(火)  
9月24日(火)  
10時～

(9/24は誰でも簡単にできる料理です)

●参加費 無料  
●持参品 エプロン



### 笑福クラブ親の会 不登校・ひきこもり親(家族)の会

語り合うことで、心を軽くしませんか？

●日時 9月14日(土)  
13時30分～  
(※毎月第2土曜日)

●内容 交流会・意見交換  
●対象者 不登校やひきこもりの方の家族



### 精神対話士による無料相談会

心配や悩みごとを相談してみませんか？

●面談日 9月14日(土)  
9月26日(木)  
13時30分～  
15時30分  
(※毎月第2土曜日・第4木曜日)

※予約制となっております。  
事前に下記の問い合わせ先までお電話ください。

(※右記のQRコードよりほっと館やめホームページをご覧になれます。)



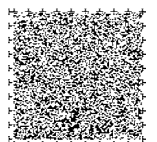
問い合わせ

### ほっと館やめ

☎22-8315 携帯090-6893-5701  
メールアドレス：hottokan@road.ocn.ne.jp

### ほっと館やめ(上陽)

☎24-9820 携帯090-7457-4053  
メールアドレス：hottokanjyoyo@gaea.ocn.ne.jp



※ほっと館やめでは、✉メールでの相談も受付けています。お気軽にご活用ください。

# 第33回黒木町社会福祉大会

～手をつなごう福祉フェスティバル～

**日時** 10月5日(土) 9時30分～14時

**場所** 八女市黒木地域交流センター「ふじの里」  
黒木体育館

**講演** 笑って健康  
アソビリテーションのすすめ

講師：NPO法人 博多笑い塾  
小ノ上 マン太郎 氏

## アトラクション

ダンススクール  
・NEW CHILDREN'S

★チャリティー物品バザー

★食バザー

★入浴施設・トレーニングルーム無料開放

※内容は変更になる場合があります。

●問い合わせ：八女市社会福祉協議会黒木支所  
☎ 42-2131



## 地域献血のお知らせ

皆さまのあたたかいご協力をお願いします

〔献血の基準(400ml献血の場合)〕

- 年齢：男性17～69歳 女性18～69歳  
※65歳以上の献血については、  
60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。
- 体重：男女とも50kg以上
- 最終的な献血の可否は、ご本人様の当日のご体調等も勘案し、献血会場の健診医師が総合的に判断いたしますので、あらかじめご了承ください。

●日時：9月12日(木)  
10時～12時  
会場：八女市農業活性化センター

●日時：9月12日(木)  
14時～16時  
会場：八女市総合体育館

●日時：9月16日(月)  
10時～12時/13時～16時  
会場：ゆめタウン八女

●問い合わせ：八女市献血推進協議会 (八女市社会福祉会館内)  
☎ 23-0294



## 第九回八女市金婚式



## 参加者募集



八女市社会福祉協議会では八女市との共催により、八女市内在住の結婚50周年を迎えられるご夫婦を対象に金婚式を開催します。

●日時：11月22日(金)  
午前11時開式

●場所：ガーデンホール矢部川城  
(八女市津江913-1)

●参加対象：昭和49年(1974年)前後に結婚された八女市在住のご夫婦

●内容：式典の後、祝宴を催します。  
(アトラクションをお楽しみください。)

●参加費：ご夫婦で7,000円

●申込期間：9月2日(月)～10月31日(木)

●申込方法：最寄りの社会福祉協議会本所・各支所  
にお申込みください。

※申込者には受付時間等を記載し、改めて案内状をお送りします。

※上陽地区、黒木地区、立花地区、矢部地区、星野地区については、送迎バスを準備いたしますのでご利用ください。

★詳細は9月1日号の広報やめの折込みチラシをご覧ください。



## 『点字教室』開催のお知らせ

受講料  
無料

点訳を習得して視覚に障がいのある方と交流を深めてみませんか？

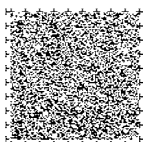
市広報、やめ社協だより等の身近な生活情報を点訳して、障がいのある方の生活を支援していくボランティア養成講座を下記の通り開催します。

●期日：10月2日～10月30日(毎週水曜日)  
5回シリーズ

●時間：19時～21時

●場所：八女市社会福祉会館 2階中会議室

●申込・問い合わせ：八女市社会福祉協議会 福祉課  
地域福祉係 ☎ 23-0294



八女市社会福祉協議会  
公式LINEアカウント

友だち追加用QRコード



## 聞こえる安心、防災ラジオ

八女市の防災等緊急情報はFM八女【80.1MHz】を通じて放送します。



リサイクル適性(A) 環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

